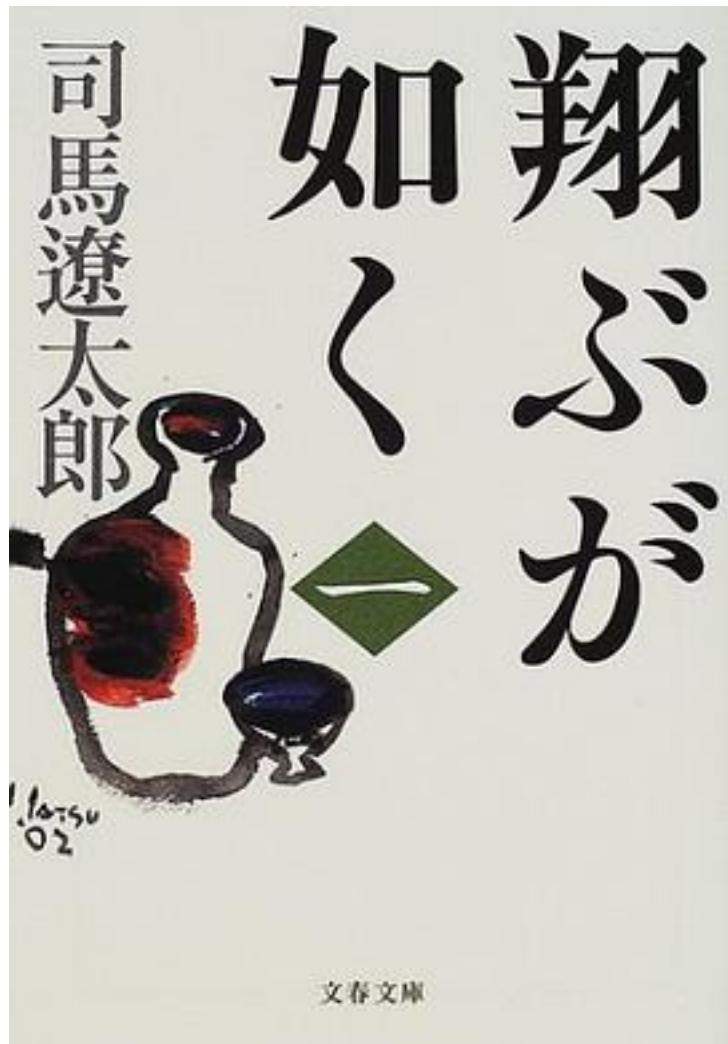


翔ぶが如く <1>



[翔ぶが如く <1> 下载链接1](#)

著者:司馬 遼太郎

出版者:文藝春秋

出版时间:2002-2

装帧:文庫

isbn:9784167105945

明治維新とともに出発した新しい政府は、内外に深刻な問題を抱え絶えず分裂の危機を孕んでいた。明治六年、長い間くすぶり続けていた不満が爆発した。西郷隆盛が主唱した「征韓論」は、国の存亡を賭けた抗争にまで沸騰してゆく。征韓論から、西南戦争の結末まで新生日本を根底からゆさぶった、激動の時代を描く長篇小説全十冊。

作者介绍:

司馬/遼太郎

大正12(1923)年、大阪市に生れる。大阪外国語学校蒙古語科卒業。昭和35年、「梶の城」で第42回直木賞受賞。41年、「竜馬がゆく」「国盗り物語」で菊池寛賞受賞。47年、「世に棲む日日」を中心とした作家活動で吉川英治文学賞受賞。51年、日本芸術院恩賜賞受賞。56年、日本芸術院会員。57年、「ひとびとの楚音」で読売文学賞受賞。58年、「歴史小説の革新」についての功績で朝日賞受賞。59年、「街道をゆく“南蛮のみち1”」で日本文学大賞受賞。62年、「ロシアについて」で読売文学賞受賞。63年、「韃靼疾風録」で大仏次郎賞受賞。平成3年、文化功労者。平成5年、文化勲章受章。平成8(1996)年没(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[翔ぶが如く <1> 下载链接1](#)

标签

日本文学

司马辽太郎

日本

历史

小说

评论

印象里是写西乡隆盛的一本

实际上是以萨摩藩视角为主线展现明治维新前后革命风潮以及西乡等人对国家的忧思，最终形成后来延绵不绝影响日本内外政策乃至东亚政局走向的“征韩论”。先抑后扬的慢慢展现西乡的人格魅力，描绘的萨摩风土也学到很多。充满惆怅的明治维新。

总共10本，全读过了。全景式展现明治政府成立之后到西南战争这10年间日本所发生的事件。值得一读。

[翔ぶが如く 〈1〉 下载链接1](#)

书评

[翔ぶが如く 〈1〉 下载链接1](#)